

初めての会津開催となった、ふくしま健康長寿フェスティバルに言語聴覚士会でブースを出展することとなり、参加してきました。予想を上回る来場者にびっくり！！ 発声・嚥下・聴覚に興味関心があるとともに、高齢化社会による将来の不安も大きいのではと感じました。短い時間とはいえ、一対一での対応であったため、悩みや疑問、言語聴覚士ってこんなことするの？という質問に直接答えることもできました。

ある70歳代の方は嚥下音の頸部聴診に「ごっくんの音って聞こえるのね」と驚いた感想。60歳代の方は「義母が誤嚥性肺炎で亡くなったの。こういう知識ってその時知らなかった」と話されました。日ごろの病院勤務では得られない体験をさせて頂きました。また、可愛い子ども連れ的女性からは、「聴力を良くするトレーニングはありますか？」と質問があり、返答に苦労しました。そんな時は参加されている他の先生に協力を仰ぐことができ、心強かったです。今回の活動への参加で、改めて言語聴覚士が関わる領域の重要性を感じる事ができました。

会津中央病院

室野井貴子



ふくしま健康長寿フェスティバル 2019 in 会津若松に参加してきました。今回は初めて会津にて開催されましたが、私自身も初めての参加でした。直前まで不安や緊張がありましたが、準備の段階から他の先生方とお話をさせて頂き、徐々に緊張がほぐれました。開場となってもS Tのブースに来てくださった方とお話しながら楽しく参加させて頂きました。S Tのブースを探して来て下さる方、呼び込みやブースを見た方が気になって足を止めて参加して下さる方が沢山いらっしゃいました。嚥下体操などのパンフレットをお渡しすると「やってみるわ」とお話されている人が多かったです。沢山の方が飲み込みや聞こえについて関心を持っていることが伺えました。小学生ぐらいのお子さんにも頸部聴診を体験して頂き、幅広い世代の方に体験して頂けたことはいずれもうれしく思います。地域の方々と触れ合ういい機会になりました。ありがとうございました。

飯塚病院

和田さと子

ふくしま健康長寿
フェスティバル
2019 in 会津若松

